



暑さ寒さも彼岸まで、季節は流れ草花は秋を彩り、寒露となりにけり！見上げれば、十三夜。このころを表わす鴻雁来(こうがんきたる)。私たちの生活と蠢(うごめ)く自然の姿かたちや風情が、ぴたりと嵌まった言の葉として誕生し継承されてきています。  
うう～ん、秋だな～！“曰く言い難し”ということでしょうか。



2学期は長丁場で、学校行事等の計画もたくさんありますが、現在のところコロナ感染防止対策のため制限した中での実施となっています。多くの方がたに、子どもたちの活躍や成長ぶりを参観していただきところですが・・・ご無理を申し上げることがあり申し訳ございません。

### 丹後学園行事 部活見学

「空想の翼で駆け、現実の山野を往かん」(松本清張)

～あんなふうになりたいなあ、そうなれるように今のうちにできることをしっかりやっておこう～

9月21日には小学6年生(丹後小23人、宇川小9人)が中学校の部活動を見学し、半年先の中学生となった自分自身をイメージする機会になりました。中学生の技術やマナー、チームプレーは驚嘆に値すると感想にもありました。

【アンケートから 中学入学後、部活動選びの参考になったか？

あてはまる:72% ほぼあてはまる:22% ほぼあてはまらない:6%  
あてはまらない0%】



#### <小学生の声>

- \*部活動をとおして興味がわき、目標が生まれていくことは、とてもいいことだと学んだ！
- \*来年から、こんな練習をするのか・・・と感じた。中学生になったら、勉強も部活も真剣にしていきたい。
- \*中学校の部活は、大変そうだけど、頑張る。入りたい部も見学したことで、だいたい決まった。
- \*小学校と違って、活動中に「文句」が全く聞こえてきませんでした。
- \*部活動は、みんなでやると楽しくできそうだなと思えました。



### 教科の学習指導

丹後学園では、「読むこと」に重点を置いて指導を進めています！(国語だけではなく)

小学5年生から中学1年生<充実期>の「読むこと」の指導の重点ポイント

◎子どもたちが、文章を読んで、わかったことをもとに話し合ったり、まとめたりすることができる。

◎子どもたちが読んだ内容を説明したり、自分の生き方について

考えたことを伝え合うことができる。・・・具体的にいうと、

- ・人物の行動や生き方と自分の考え等の共通点、相違点を見つける。
- ・書かれている内容の構成や展開を比べて読む。
- ・新聞の編集や記事の書き方に注意して読む。
- ・ものの見方や考え方の違い、あたらしい発見に気づく。



運動会に向けて練習するこどもたちく丹後こども園



§ 運動会は、、、日ごろの練習や頑張ってきたことを披露する絶好のチャンス！一友達と協力して、目標を達成したり、競争する経験ができる貴重な取組一

◎体力の成長のみならず、心や人間関係<コミュニケーション能力>を学ぶ場となる。

◎保幼で学び育まれた力を小学校に、そして中学校へつなげていく【 系統性・一貫性 】教育活動



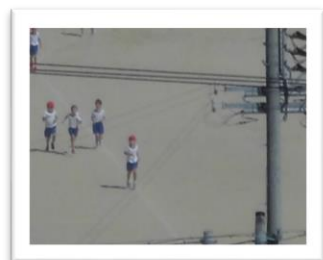
《丹後学園で大切にしている コミュニケーション能力を高めるポイント》

0期 5歳の支援では・・・友達と関わる中で、お互いの思いを共有して、共通の目的を実現していくことを重視する！

I 期 小1～小4の指導では・・・自分の考え、意見を相手に伝えること、異なる意見も大切にすること、誰に対しても公正で公平な態度で接することができる。



II 期 小5～中1の指導では・・・自分の考え、意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる考えや立場を理解すること、誰に対しても差別や偏見をもつことなく公正、公平な態度で接し、正義の実現に努める。



2小学校マラソン大会に向け練習しています！

← 全校児童で走っています、宇川小！ 丹後小児童も走っています！

III 期 中2～中3の指導では・・・自分の考え、意見を相手に伝えるとともに

個性や立場を尊重すること、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し自らも高める。

自他の権利を大切に、義務を果たすこと。



お知らせ一 お誘いあわせの上、ご来校ください。

10月28日(金曜日)19:20～丹後小学校で「教育講演会」が開催されます。

演題は、「幼児期、思春期の子どもの接し方と

小中学校の子どもたちの学力、人間性・社会性を高めるには」

講師は、佛教大学 副学長 原 清治先生

